



うちこちょう
内子町

〒795-0392
喜多郡内子町平岡甲168

電話
番号 (0893)
44-2111

地域
指定 過疎 山振 農工 辺地 (13)
特農 農振 県立公園 拠点都市

FAX (0893)
44-4300
(総務課)

〈沿革〉

平17. 1. 1 町制施行
(内子町・五十崎町・小田町 合併)

〈市町のあらまし〉

内子町の中心部は、愛媛県のほぼ中央部に位置し、県都松山市から約40kmの地点にあたり、国道56号、379号及び380号、JR、高速道路などの幹線が通っている。また、町の中央部を一級河川・肱川の支流小田川が流れている風光明媚な中山間地域である。

面積は299.43km²で、その広がりは東西30.0km、南北27.0km、平地は少なく、山林が77%を占めている。気候は小田深山を除き、四季を通じて温暖で、そこではぐくまれた農林産物は多種多様である。また歴史も古く、木蠟や和紙などの生産地として名声を高め、その繁栄の竹まいをまちづくりの柱にすえている。

〈由来〉

町内には、旧石器時代のものと思われる石器や、弥生時代と推定される土器の破片、土錘なども発見されており、古くから人が居住していたと思われる。また、藩政の時代にあつては大洲藩ならびに新谷藩に属していた。その後、紆余曲折を経て、昭和の大合併で、昭和29年から30年に相前後してそれぞれ内子町、五十崎町、小田町を形成した。
平成17年1月1日、3町が合併し「内子町」となる。

〈庁舎の建設年度〉

建築年度	増 改 築	主な増改築箇所
昭53年度	平16年度	4階建ての執務室などを増築

〈行政組織〉

(平成27.4.1現在)

区 分	名 前	任 期
町 長	いのもと たかとし 稲本 隆壽	平成29. 2. 5
副町長	稲田 繁	平成29. 2.15

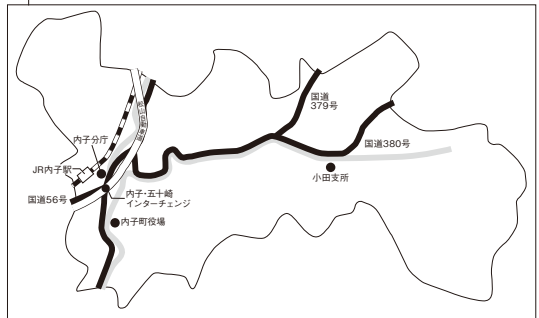
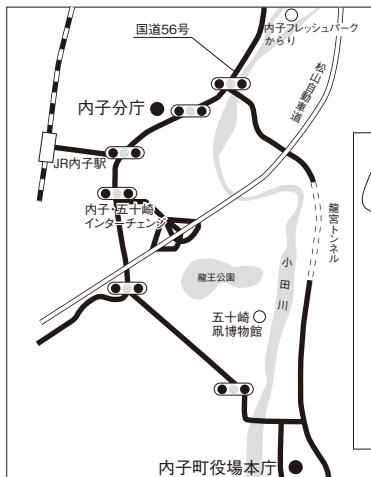
議 会 (平成27.5.11現在)

議長	池田 洋助	副議長	寺岡 保
議員	(条例定数) 15人		
	(現 員) 15人		
任期	平成29. 4.30		

職員数 (平成27.4.1現在)

普通会計	209人
企業会計	5人
その他会計	11人
計	225人

〈地 図〉



(交通機関) JR内子駅より徒歩30分、町営バス及びタクシーで5分

〈人口・世帯数〉

()は増減率

区 分	60国調	平2国調	平7国調	平12国調	平17国調	平22国調	27.1.1住基
人 口	(△5.0%) 24,079	(△5.8%) 22,687	(△4.4%) 21,678	(△4.1%) 20,782	(△5.6%) 19,620	(△8.0%) 18,045	17,823
男	11,439	10,713	10,233	9,819	9,232	8,499	8,504
女	12,640	11,974	11,445	10,963	10,388	9,546	9,319
世帯数	7,016	6,985	6,969	7,062	7,017	6,722	7,272

年齢構成 (平22国調)

選挙人名簿
登録者数 (平27.9.2現在)

区 分	14歳以下	15歳以上64歳以下	65歳以上	男	女	計
人 口	2,190 人	9,650 人	6,204 人	6,968 人	7,891 人	14,859 人
構成比	12.1 %	53.5 %	34.4 %			

喜多郡

〈土地利用〉

(平22.2.1現在) (ha. %)

総面積 平26.10.1(km)	林野面積	林野率	経営耕地面積			宅地化率 平25.1.1	
			田	畑	樹園地		
299.43	23.174	77.4	1,383	331	411	641	1.7

〈産 業〉 産業構造

(百万円・人)

区 分	総生産額(平24年度)		就業人口(平22国調)	
第1次	3,186	7.2 %	1,971	22.9 %
第2次	9,192	20.7 %	2,069	24.0 %
第3次	32,098	72.2 %	4,543	52.7 %
計	44,476	100.0 %	8,618	100.0 %

(注)「総生産額」の計欄は帰属利子の控除等を行っており、「就業人口」の計欄は分類不能の人数を含む。

主要製造業 (平25年)

(百万円)

所得 (平24年度)

品 名	製造品出荷額等	1人当たり 市町民所得	千円
繊維	4,846	2,002	
食料	2,951		

平成26年度の主な建設事業

(百万円)

今後の主な建設事業

(百万円)

事業名	事業費	事業名	事業費
分庁舎耐震補強等事業	243	庁舎耐震補強事業	107
育成林整備事業	21	大瀬小学校改築事業	657
農山漁村地域整備交付金事業(山のみち:林道)	124	県営中山間地域総合整備事業	14
農山漁村地域整備交付金事業(道交:林道)	78	育成林整備事業	8
社会資本整備総合交付金事業	164	愛媛国体施設整備事業	155
がけ崩れ防災事業	89	農山漁村地域整備交付金事業(山のみち:林道)	125
クリーンセンター焼却炉補修事業	31	農山漁村地域整備交付金事業(道交:林道)	61
消防詰所建設事業	7	社会資本整備総合交付金事業	196
小田地区学校建設事業	193	がけ崩れ防災事業	81
大瀬小学校建設事業	62	大瀬中学校体育館耐震補強事業	210
五十崎小学校耐震補強事業	309	町営住宅整備事業	131
農業体験強化基盤整備促進事業	56	立川小学校体育館耐震補強事業	76

〈観光・レクリエーション〉

名勝旧跡 観光施設	八日市護国地区町並(重要伝統的建造物群保存地区)、内子座、本芳我家(重要文化財)、木蝨資料館「上芳我家」(重要文化財)、大村家(重要文化財)、文化交流ヴィラ「高橋邸」、商いと暮らしの博物館、町家資料館、内子フレッシュパークからり、観光農園(ぶどう、桃、梨ほか)、田丸橋(屋根付橋)、弓削神社、大瀬の館、大瀬の米蔵、川登筏流し資料館、風博博物館、龍王公園、泉谷の棚田(棚田百選)、紅葉滝、だらり権現、小田深山渓谷、SOL-FAオダスキーゲレンデ、道の駅「せせらぎ」、天然記念物(イチイガシ・ケヤキ・乳出の大イチョウ)
祭り 催し物	高昌寺ねはん祭(3月14、15日)、川登川まつり・筏流し(4月第4日曜日)、いかざき大風合戦(5月5日)、うちこ夏祭り(7月中旬)、小田籠籠祭り(7月最終土曜日)、内子籠祭り(8月6日～8日)、いかざき夏祭り花火大会(8月14日)、寺村山の神火祭り(8月15日)、宮相撲(9月23日)、川中三島神社秋祭り(10月21日) 石畳水車まつり(11月3日)、小田の郷ふるさとまつり(11月第1日曜日)
公 営 宿泊施設	石畳の宿…農村体験宿泊施設。客室3部屋、宿泊12人程度、ほかに囲炉裏の間などあり。 (電話0893-44-5730) 文化交流ヴィラ「高橋邸」…1日1組限定、宿泊10人まで。火曜日定休。(電話0893-44-2354) 大瀬の館…1日1組限定、宿泊18人まで。(電話0893-47-0502) いかだや…1日3組、宿泊8人まで。(電話0893-59-9900) 小田深山荘…宿泊27人まで。渓谷散策・溪流釣りなど。1月～3月降雪のため閉鎖。(電話0892-52-2384) お山の学校がながた…田舎生活体験宿泊施設。客室2部屋、宿泊20名、多種体験メニューを用意。年末年始休。(電話0893-45-0232)

〈名物・特産品〉

和ろうそく、棕櫚細工、地酒、味噌、桃、梨、ぶどう、ゆず、栗、柿、栗饅頭、町並みせんべい、漬け物、しいたけ、手漉き和紙、桐下駄、飾り凧、凧もなか、凧せんべい、たらいうどん、ゆずっこ、菓たばこ

〈主な公共施設〉

公共施設…小学校(7)、中学校(4)、高等学校(2)、幼稚園(4)、保育園(5)、自治センター(5)、児童館(2)、内子町図書館情報館、内子町共生館、内子町文化交流センター「スバル」、内子町就業改善センター、内山クリーンセンター、内子消防署、内子町浄化センター、内子町林業センター、保健センター(3)、特別養護老人ホーム(3)、共同福祉施設
ビジターセンター「A-runze」、子育て支援センター、福祉館(2)

スポーツ・レジャー施設…内子運動公園、龍王公園、城の台公園、五十崎体育館、小田体育館、中田渡体育館、内子スポーツセンター、神南山ふるさと森公園、小田深山千年の森公園、SOL-FAオダスキーゲレンデ、五十崎プール、小田プール

〈主要課題〉

<p>内子町まちづくり戦略</p> <p>戦略1 「稼ぐ力」のある内子町をめざす</p> <p>①農業の衰退を食い止める「攻めの農業」を推進する。 ②持続可能な森づくり産業(六次産業)としての「森業」を振興する。 ③事業者と行政が協働して、特色とにぎわいのある商店街をつくる。 ④着地型観光を推進し、持続可能な観光産業を確立する。 ⑤国内外との交流をはかり、新しいビジネスチャンスを開拓する。 ⑥情報通信基盤を整え、経済活動の活性化、高度化をはかる。 ⑦地域エネルギーの開発に取り組み、地域の自立度を高める。 ⑧町内の企業と連携して安定した雇用を確保する。 ⑨特色ある産業や起業を支援する。 ⑩独自の技を持つ移住者を受け入れ、多様な業種のある町をめざす。</p> <p>戦略2 「住み続けられる」内子町をめざす</p> <p>①行政サービスの低下を防ぎ、町民の利便性の向上をめざして、情報通信技術を積極的に活用するとともに、民間にできることは、できるだけ民間に</p>	<p>させる。</p> <p>②市街地整備、集落整備等のコンパクト化をめざす。 ③公共施設等は、統廃合、民間施設との複合化、合築や減築など、将来の利用状況や維持管理体制を予め想定して整備をはかる。 ④Uターン者を増やし、子育て支援策を強化充実させ、子どもたちの元気が響く人口定住化のまちをめざす。 ⑤町民の安心・安全を守る広範で総合的な災害対策に取り組む。 ⑥子どもたちへのふるさと教育を推進するとともに、地域の伝統や文化を再評価する社会教育活動を促進する。 ⑦高齢者や障がい者福祉を充実させ、いつまでも安心して暮らせるまちをめざす。 ⑧住民同士の絆を強めるとともに、自治力のあるコミュニティを構築する。 ⑨町民や職員、専門家等の知恵を結集し、まちづくりを提案する組織を検討する。 ⑩職員の能力向上に力を入れ、少数精鋭型役場をめざすとともに、行政職員OBの能力を活かす仕組みをつくる。</p>
--	--

〈地域づくりの事業等〉

内子町まちづくり戦略に基づき、「第2期中内子町総合計画」に掲げるプロジェクト10を推進します。

プロジェクト10(重要施策)

1 まちなかりバイバル・プロジェクト	6 美しい内子プロジェクト
2 いかざき・ワンダーランド・プロジェクト	7 着地型観光プロジェクト
3 小田流ライフスタイル・プロジェクト	8 子育て応援プロジェクト
4 うちこ森業プロジェクト	9 情報推進化プロジェクト
5 安全・安心まちづくりプロジェクト	10 地域エネルギー・プロジェクト

〈市町が出資している地方公社の設立状況〉

(平成27. 4. 1現在)

形態	地方公社の名称	設立登記年月日	資本金(千円) 出資割合(%)	主 な 事 業 内 容
(公財)	内子町国際交流協会	平 6.10. 1	226,075 (51)	国際交流、ホームステイ、海外研修補助制度、支援
(株)	内子フレッシュパークからり	平 9. 4. 1	70,000 (50)	農産物の販売及び加工、レストラン経営など
(株)	小田まちづくり	平14. 3.27	35,350 (57)	「小田の郷せせらぎ」運営(特産品販売、農産物販売)
(株)	小田森林ログハウジング	平 6. 8.29	20,000 (27)	建築・大工工事及び建設資材、木材工作物の卸売

〈総合計画〉

基 本 構 想			基 本 計 画
計 画 の 名 称	議決年月日	期 間	期 間
第2期内子町総合計画	平27. 3.20	平27～36年度	平27～31年度

〈行政機構〉

(平成27.4.1現在)

